

# 令和7年度第3回埼玉県スマート農業普及推進運営会議 議事概要

## 1 日時

令和8年3月25日(水) 10時00分～12時00分

## 2 場所

オンライン及び埼玉会館4C会議室

## 3 出席者

【委員】金子委員、青柳委員、中村委員、落合委員、石原委員、山中委員、榎本委員、山岸委員、河野委員、深山委員、鳥居委員、平野委員

## 4 議事概要

### (1) スマート農業普及推進事業（実証事業）の成果について

令和6年度で実証が完了し、令和7年度に成果をとりまとめた6課題の成果について、実証成果の報告があり、以下の議論が行われた。

- ・省力化目的の技術に対し、収量増などの目標が設定されている課題があった。農機の導入目的に対応した目標設定を行うことが望ましい。
- ・施肥量の削減や品質向上、収量向上については、1、2年の結果ではなく、継続した実証結果が必要である。
- ・スマート農業技術は手段であり、目的を持って導入するべきである。また、導入する際にはコストの問題があるため、規模拡大がないと見合わないことが多い。そうした視点を持って成果の普及を進めていただきたい。
- ・本事業の目的には、導入時に想定していなかった点を明らかにすることも含まれている。導入効果のほか、注意点等の様々な情報もスマート農業技術の普及に向けて把握していくことは重要である。

**(2) スマート農業普及推進事業（実証事業）の進捗状況について**

実証を継続している4課題の進捗状況について報告があった。（次年度に成果を取りまとめ、改めて実証成果の報告を行う予定である）

**(3) 施設園芸パイオニア推進事業の進捗状況について**

統合環境制御装置等、施設園芸の生産向上に資する機器の補助状況並びに導入後の収量や労働時間の変化に関して報告があった。

**(4) その他**

県から令和8年度事業等の情報提供があった。

以上